

事業名	事業箇所	地区名	事業主体																		
復旧治山事業（通常地域）	甲州市 塩山上萩原	あしくらさわうえ 芦倉沢上	山梨県																		
<p>(1) 事業概要</p> <p>① 課題・背景 本箇所は、甲州市塩山上萩原裂石地区に位置する一級河川重川の左支流であるが、平成19年9月7日の台風の集中豪雨により多数の山腹崩壊が発生し、ここを発生源とした土砂が渓流内に不安定に堆積し、土石流発生のおそれが高まったため、土砂流出防止対策及び発生源対策を早急に実施し、下流保全対象の保護を図る必要がある。</p> <p>② 整備目標・効果 □ 主要目標 ○ 土石流被害の防止 保全対象 人家 30 戸、国道 200m、県道 3,000 m 緊急度・危険度 14 ≥ 10 点 ※ 被害軽減額 388 ≥ 340 百万円 ※ (※：評価基準値)</p> <p>□ 副次効果 ○ 被災時の被害波及の防止</p> <p>③ 目標の達成方法 県道の復旧工事が完了したため、林地の復旧計画に入る。土砂発生源の山腹崩壊は山腹工を計画し復旧を図る。また、土砂堆積箇所直下へは治山ダム工を設置し、土砂流出防止及び溪床勾配の緩和を図り、土石流被害を防止する。</p>		<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>① 公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> 妥当・妥当でない ・ 森林法第 4 1 条第 1 項に規定された「保安施設事業」に該当</p> <p>② 事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ・ 森林法第 4 1 条第 3 項の規定により都道府県知事が整備</p> <p>③ 経済妥当性 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> 費用便益費 便益(B) / 費用(C) = 3.09 > 1.0 ・ 便益(B) = 865 百万円 ・ 費用(C) = 280 百万円</p> <p>④ 事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ・ 堆積土砂の流出防止及び山腹崩壊地の復旧 土砂流出防止率 4.4% → 7.0%</p> <p>⑤ 整備手法の有効性 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ・ 保安林機能の回復を図る目的から治山事業による整備が有効</p> <p>⑥ 環境負荷への配慮 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ・ 切土盛土面は緑化し、裸地を残さない ・ 使用機械は排ガス対策型とし、環境負荷を低減する</p> <p>⑦ 事業計画の熟度 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ・ 地元甲州市からの強い要望あり</p> <p><妥当性評価> <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ・ 7 項目全て妥当であることから、実施が妥当と判断する</p> <p>(4) 事業間優先度評価 ・ 貢献度ランク：a、副次効果ランク：1 ∴ 優先度評価：S I</p> <p>(5) 総合評価 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ・ (3) 及び(4)の結果から「最優先で実施」</p>																			
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>① 整備内容 谷止工 8 基、山腹工 0.8 ha</p> <p>② 整備期間 平成 22 年度～平成 25 年度</p> <p>③ 総事業費 306 百万円（国費 150 百万円）（補助率 1 / 2）</p> <p>④ 全体計画</p> <table border="1"> <tr> <td>平成 22 年度</td> <td>谷止工 2 基、山腹工 0.4 ha</td> <td>98 百万円</td> </tr> <tr> <td>平成 23 年度</td> <td>谷止工 2 基、山腹工 0.2 ha</td> <td>76 百万円</td> </tr> <tr> <td>平成 24 年度</td> <td>谷止工 2 基、山腹工 0.2 ha</td> <td>76 百万円</td> </tr> <tr> <td>平成 25 年度</td> <td>谷止工 2 基</td> <td>56 百万円</td> </tr> </table> <p>⑤ 既整備内容・期間・事業費</p> <table border="1"> <tr> <td>昭和 42 年～昭和 58 年</td> <td>谷止工 7 基、山腹工 0.46ha</td> <td>115 百万円</td> </tr> <tr> <td>昭和 62 年～平成 9 年</td> <td>谷止工 7 基、山腹工 0.23ha</td> <td>327 百万円</td> </tr> </table>		平成 22 年度	谷止工 2 基、山腹工 0.4 ha	98 百万円	平成 23 年度	谷止工 2 基、山腹工 0.2 ha	76 百万円	平成 24 年度	谷止工 2 基、山腹工 0.2 ha	76 百万円	平成 25 年度	谷止工 2 基	56 百万円	昭和 42 年～昭和 58 年	谷止工 7 基、山腹工 0.46ha	115 百万円	昭和 62 年～平成 9 年	谷止工 7 基、山腹工 0.23ha	327 百万円	<p>【事業位置図等】</p> <p style="text-align: center;">省 略</p>	
平成 22 年度	谷止工 2 基、山腹工 0.4 ha	98 百万円																			
平成 23 年度	谷止工 2 基、山腹工 0.2 ha	76 百万円																			
平成 24 年度	谷止工 2 基、山腹工 0.2 ha	76 百万円																			
平成 25 年度	谷止工 2 基	56 百万円																			
昭和 42 年～昭和 58 年	谷止工 7 基、山腹工 0.46ha	115 百万円																			
昭和 62 年～平成 9 年	谷止工 7 基、山腹工 0.23ha	327 百万円																			